

# バイオリン 歌など復興支援

## 岡山県音楽家「思い続けることが必要」

岡山県の音楽家4人による声楽・バイオリン・ピアノによるファミリーコンサートが6日、釜石市大只越町の

カトリック釜石教会で開かれた。復興支援の一環で企画され、子どもから大人まで約40人が、プロが奏でる国内外の名曲を奏した。バイオリンの入江洋文さん、ピアノの西牧尚子さん夫妻は、クラシック、オペラ、ドラマテーマ曲など10曲余りを共演。宮沢賢治「星めぐりの歌」エルガー「愛の挨拶」NHKドラマ「あまちゃん」のオープニング曲など親しみやすい選曲で、夫婦ならではの、ぴったりと息の合った演奏を聴かせた。

中谷さんらは震災後、毎年岡山で東北支援のチャリティーコンサートを開催。今年は来月に予定されていた、被災地の現状を自分の目で見て岡山の人たちに伝えたいと、医

療支援を行うNPO法人アムダ(AMDA、本部・岡山市)大槌健康サポートセンターの協力で、今回初めて釜石・大槌地区を訪れた。4日には県立釜石病院でコンサートを開いた。

中谷さんは被災地の現状を目の当たりにし、「生活にさまざまな苦労が出てきて、高齢者ほど

れていると、月日の経過とともに(震災への)感情が薄れてしまふ。時々誰かが伝え、みんな思い続けることが必要だと思つと話した。



さまざまなジャンルの曲で楽しませた入江さん(右)、西牧さん夫妻

声楽の中谷和子さんは藤澤温子さんのピアノ伴奏で日本の歌曲6曲を披露。中田喜直作曲の「夏の思い出」「ちいさい秋みつけた」な